

科目名	国語 Japanese	科目コード	20020
-----	----------------	-------	-------

学科名・学年	電気電子システム工学科・2年
担当教員	黒田 知子（一般教育科）
区分・単位数	履修単位科目・必履修・3単位
開講時期・時間数	通年，90時間【内訳：講義84，その他6】
教科書	『高等学校国語総合』（第一学習社）（→1学年からの継続使用。） 『高等学校現代文B』（第一学習社）・『古典A』（東京書籍）（→以上の2冊は新規。3学年まで継続使用）
補助教材	『音と形で覚える漢字の演習 改訂版』（明治書院）・『クリアカラー国語便覧』（数研出版）（→以上の2冊は、1学年時に購入済み。）
参考書	国語辞典・古語辞典・漢和辞典など

【A. 科目の概要と関連性】

1学年での学習を基礎に、現代文・古文の読解と国語表現の実践とを通して、総合的な思考力を含めた国語力の向上を目指す。論理的思考力を鍛え、情操を深く豊かにし、伝え合う力を強化する。また、言語文化の諸相に触れることで、自らの世界観を広く深くし、充実した言語生活を獲得する。

○関連する科目：国語（1～4年）、文学I（4年後期）、日本言語文化（専攻科1年後期）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(A)(B)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
①文章の叙述に即して内容を的確に読み取る力を身に付ける。	30%	(a1)
②さまざまな文章を読んで、ものの見方・感じ方・考え方を広げる。	30%	(a2)(b1)
③常用漢字の読み方・書き方に習熟し、使いこなす力を身に付ける。	10%	(b2)
④基礎的な古文・漢文を的確に理解する。	10%	(a1)(b1)
⑤国語表現の特質を理解し、表現する能力を身に付ける。	20%	(b2)

【C. 履修上の注意】

平生の予習・復習を欠かさないことが重要。授業で扱う教材は、事前に必ず通読し、語句の読みや意味を調べておくこと。特に古文・漢文については、音読の練習をすること。辞書や参考書を活用し、進んで発展的な学習に取り組むこと。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。50点以上を合格とする。

- 定期試験（80%）【内訳：前期中間20，前期末20，後期中間20，後期末20】
- その他（20%）

【E. 授業計画・内容】

● 前期

週	内容	備考
1	現代文（随想・評論）の読解（1）	
2	現代文（随想・評論）の読解（2）	
3	現代文（随想・評論）の読解（3）	
4	古文の読解・鑑賞（1）	
5	古文の読解・鑑賞（2）	
6	古文の読解・鑑賞（3）	
7	前期中間試験	試験時間：50分
8	現代文（小説）の読解（1）	
9	現代文（小説）の読解（2）	
10	現代文（小説）の読解（3）	
11	国語表現の実践（1）	
12	漢文の読解・鑑賞（1）	
13	漢文の読解・鑑賞（2）	
14	漢文の読解・鑑賞（3）	
—	前期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	

● 後期

週	内容	備考
1	現代文（随想・評論）の読解（4）	
2	現代文（随想・評論）の読解（5）	
3	現代文（随想・評論）の読解（6）	
4	古文の読解・鑑賞（4）	
5	古文の読解・鑑賞（5）	
6	古文の読解・鑑賞（6）	
7	後期中間試験	試験時間：50分
8	現代文（小説）の読解（4）	
9	現代文（小説）の読解（5）	
10	現代文（小説）の読解（6）	
11	国語表現の実践（2）	
12	漢文の読解・鑑賞（4）	
13	漢文の読解・鑑賞（5）	
14	漢文の読解・鑑賞（6）	
—	後期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	